



バリアフリー推進レポート



新スタジアムでバリアフリーの啓発活動を行いました！

この度、サンフレッチェ広島御協力のもと、今年2月に開業したエディオンピースウィング広島において、中国運輸局と広島市が合同でブースを出展し、パネル展示やバリアフリーグッズ、場外ビジョンでのPRを通して、「障害の社会モデル」※1、「心のバリアフリー」※2の啓発活動を行いました！

※1 障害の社会モデル...障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方。

※2 心のバリアフリー...様々な心身の特性や考え方を持つすべての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。



サンフレッチェ広島、中国運輸局で事前の告知を行い、Xの閲覧数は1.9万件に登りました！

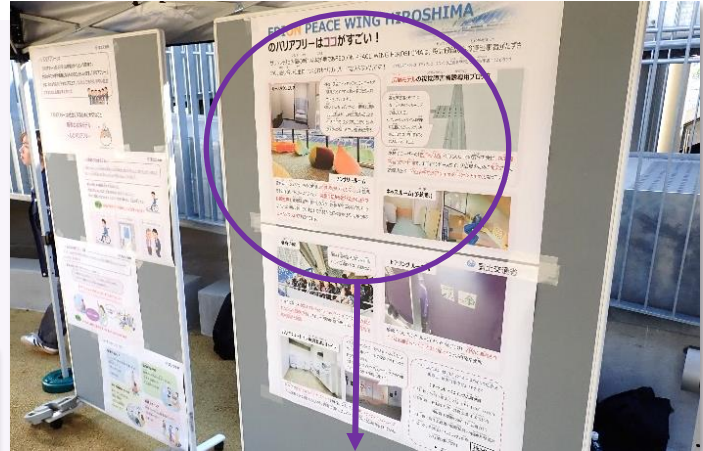


エディオンピースウイング広島での啓発活動

- 日 時：令和6年11月3日(日) 10:30~13:00 第35節京都サンガF.C.戦
- 場 所：エディオンピースウイング広島 1階円形広場（広島県広島市中区基町15-2-1）
- 主 催：国土交通省中国運輸局、広島市
- 協 力：サンフレッチェ広島
- 参加者：スタジアム来訪者
- 内 容：
 - ①「障害の社会モデル」、「心のバリアフリー」の紹介
 - ②エディオンピースウイング広島のバリアフリー設備紹介
 - ③バリアフリークイズ

バリアフリーについて、パネル展示を使って紹介しました！

「障害の社会モデル」、「心のバリアフリー」の説明や、中国運輸局のバリアフリーの取組を紹介する「バリアフリー推進レポート」を展示しました。参加した方々には、展示物を御覧いただいてからクイズに挑戦してもらいました。



サンフレッチェ広島にちなんで、エディオンピースウイング広島のバリアフリー設備も紹介しました。

EDION PEACE WING HIROSHIMA 国土交通省

のバリアフリーはココがすごい！

サンフレッチェ広島の新な本拠地であるEDION PEACE WING HIROSHIMAは、設計段階から障害当事者がたずさわ、話し合いを重ねてつくれた「バリアフリー」なスタジアムです！

カムダウンエリア

- ・キュー型のイスやソファ、3等車など座席が座りやすい物を多く取り入れて下させていただきました。
- ・本人のみならず、サッカークラブを応援していた家族が、この設備があることで生活の中で「スタジアムに行く」という選択肢が増えることが重要だとおっしゃいます。

広島モデルの視覚障害者誘導用ブロック

- ・視覚障害者としてはいくつかのインクランプが導入される。
- ・ユニバーサルデザインは建築に注目があっても、決める際には注目の中心は「大気環境」です。

センサールーム

音や匂い、光といったものに敏感な感覚過敏の方も安心して観戦できる部屋。サッカースタジアムで、**開業当初から完備されているのは国内初！**発達障害や自閉症の方が、感情が高ぶるなどのパニックになった際に、周りから独立して気持ちを落ち着かせることができるカムダウンエリアも設けてある。

キッズルーム(予約制)

参加者(500人以上!)には、サンフレッチェ広島とコラボしたオリジナルエコバッグをプレゼントしました！



ブースの様子

多くの人に御参加いただきました！京都からのアウェイサポーターの方々もたくさん来られ、ブースは大盛り上がりでした。



クイズに正解するため、参加者の方々はパネルの展示内容をよく読み、真剣に取り組んでいただきました。「障害の社会モデル」や「心のバリアフリー」について初めて知った、勉強になったという声も聞かれました。

スタジアムパーク前の大型ビジョンでは、コラボ出展した広島市制作の「心のバリアフリー」の啓発動画も放映しました！



約15m！

▼動画はこちら
(Youtube)

